

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館 学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

8. 国際学術交流室

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2014-03-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/5056

8 国際学術交流室

設置目的

国際学術交流室は、組織的な国際交流を円滑に進めることを目的として、2010年4月に設立された。本館は、創設以来グローバルな視野をもち、積極的に海外の研究機関や研究者と連携、協力しながら研究活動と博物館活動を行ってきた。国際学術交流という点では大学共同利用機関の中でも先駆的な役割を果たしてきたといえるであろう。

20世紀末に始まった情報通信技術革命は、国際的な情報交換のスピードと量を飛躍的に増大させた。その結果、本館の国際的な活動はもはや個人の努力や関係では処理しきれない状態となり、組織的、戦略的な国際交流が求められている。国際学術交流室は、これまで蓄積されてきた海外の研究機関、研究者との関係を活かしつつ、本館がより戦略的、より組織的に国際的な研究連携や共同研究を推進するために、以下のような活動を行っている。

機能

国際的な学術交流の戦略策定

- ・学術交流のガイドライン策定
- ・国際共同研究の仕組みについての検討
- ・海外の出版社を使った外国語出版についての検討
- ・教員の国際公募の可能性についての検討

学術協定の締結及び協定に基づく研究交流事業の推進

- ・学術協定の締結の準備支援
- ・協定に基づく研究交流事業の支援
- ・協定に基づく事業の年度計画書、年度報告書の受付と検討
- ・国際シンポジウム・国際共同研究・国際連携展示などの支援
- ・海外からの協定締結の申し出、問い合わせに対する対応

外国人研究者に対する支援

- ・外国人客員教員、機関研究の外国人共同研究員、海外からの外来研究員などの受け入れの支援
- ・外国人研究者向けみんぱく利用マニュアルの作成、改訂
- ・館員に通知される各種連絡、お知らせなどの翻訳

その他国際学術交流に関すること

- ・広報関連の国際交流事業の監修
英文要覧、HPの英語版、*MINPAKU Anthropology Newsletter*の監修
- ・みんぱくフェローズの名簿の監修

国際学術交流事業の評価資料のとりまとめ

- ・国際学術交流事業の業務実績報告書、自己点検報告書等の資料とりまとめ

2012年度活動内容

- 1) 研究連携や研究協力のために、海外の研究機関との協定について、調査・準備を進めている。2012年度は、6月に米国・アシウィ・アワン博物館・遺産センター、7月にフィリピン・国立博物館、8月に中国・社会科学院民族学・人類学研究所、11月にフランス・国立パリ・デカルト大学・人口開発研究所との間に協定を締結した。
- 2) 2012年度に国際学術交流室を通して行った翻訳校閲件数は下記の通り。
翻訳 20件
校閲 70件
- 3) 外国人研究員・外国からの外来研究員のための *Guide for Visitors* を改訂・発行した。
- 4) 英文ホームページの英語表記を検討・決定した
- 5) 本館組織の英語名称の作成・変更の検討を行った。

